

「安定した人員確保のため」の活動改革案に関して

文責 吉本 太一

目次

- (1)改革案の背景
- (2)改革案
 - ①既存の常識に捕らわれない、勧誘活動の強化
 - ②常任委員になるメリットを新設
 - ③団体に「1,2年生との接点づくり」に協力してもらう
- (3)導入スケジュール
- (4)注意事項

(1)改革案の背景

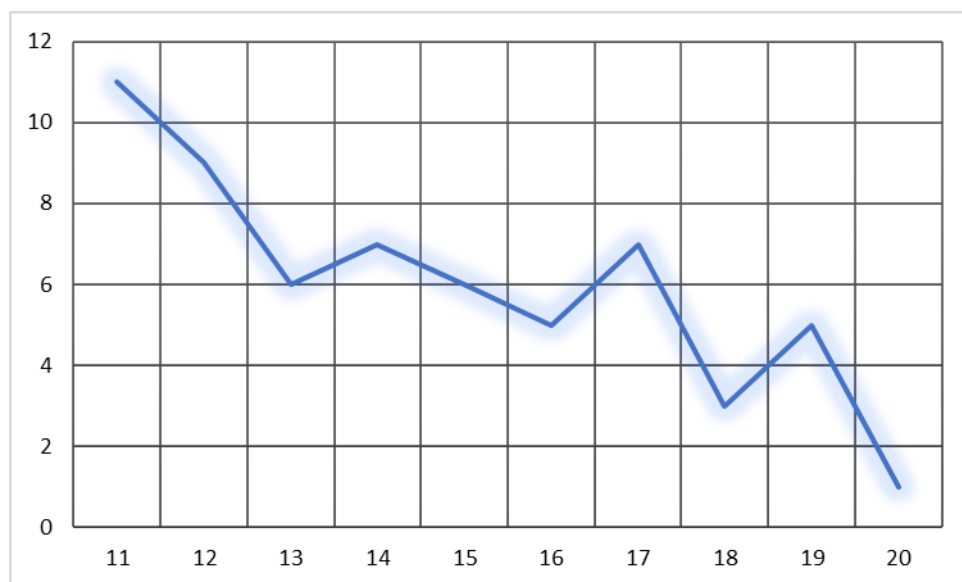
昨年度、団体管理において以下のような度重なる不手際がございました。まずはそのことに関しまして、ご迷惑をかけた方々にお詫びを申し上げます。

- ・メール対応の遅れ
- ・学生大会や団体代表者会議の告知の遅れや、急な会議の延期
- ・Web ページの更新停滞

その問題の一番の原因は「人手不足」であると常任委員会では認識をしており、今回「常任委員の安定した人員確保」を目的とした活動改革案を策定いたしました。

(参考)

- ・常任委員の人数の増減は次の通りです。



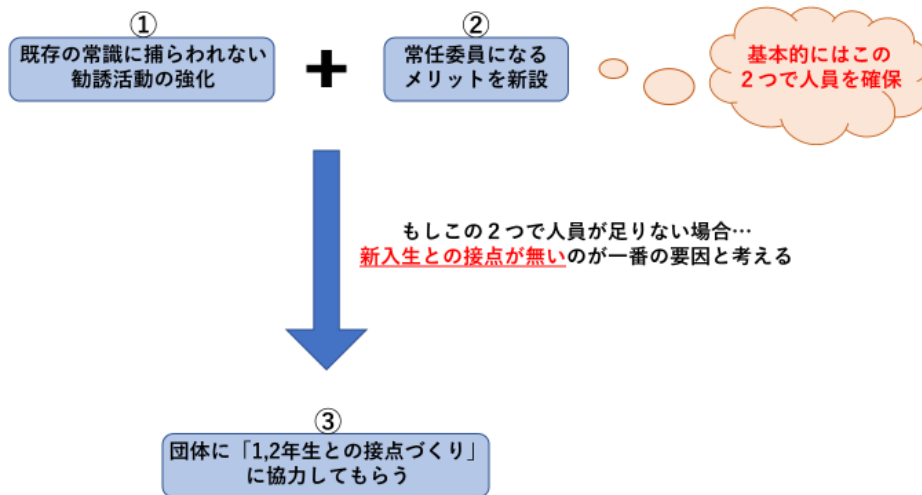
※横軸は入学年度下二桁、縦軸は4年時点 あるいは現在の活動可能人数
※幹部以外は3年で引退だが、引退まで活動した者は4年次の名簿には在籍

- ・常任委員の運営が安定的にできる人数の目安は 6人 です。
(1年生が所属する部署が3つ、それぞれ2人以上所属するのが望ましいので、 2×3 で6人)

(2)改革案

本改革案は次の **3つの方針**で成り立っております。

- ①既存の常識に捕らわれない、勧誘活動の強化
- ②常任委員になるメリットを新設
- ③（上記2つで効果が無い場合のみ）団体に「1,2年生と常任委員会との接点づくり」に協力してもらう



次のページから、①,②,③それぞれについて詳しく説明します。

①既存の常識に捕らわれない、勧誘活動の強化

今までは、常任委員会は新歓運営をしている立場として「勧誘機会の公平性」を重要視して、他参加団体と同様の勧誘機会での勧誘を行ってきました。

しかし「勧誘機会の公平性を守って、結果として人が足りずに管理に支障をきたす」のであれば、「勧誘機会の公平性を逸脱して、しっかり人員を確保した方が良い」という意見を参考に、「**勧誘機会の公平性**」を逸脱した**勧誘**を行おうと思っております。

具体的には「新入生用冊子での大々的な告知」や「新歓当日の全新生入生向けの説明において、常任委員会の紹介をする」など、他団体には無い勧誘機会を独自に設けようと考えております。

ただし、新歓参加団体向けの説明会「新歓会議」にて毎年、逸脱内容をしっかり説明したうえで、参加団体から同意を得ることを前提とします。

②常任委員になるメリットを新設

現状は無給で「やりがい」のみを糧にしている常任委員ですが、数多くのメール対応や学友会サービス運営のための窓口常駐業務、新歓の運営等で多少の忙しさもあり、「やりがい」のみを糧にするのは人員減少の流れを食い止めることができないと考えております。

そこで新たに来年度から、**常任委員に毎月 1,000 円の「神楽坂キャンパスの学食の食券」を付与すること**を検討しております。

(参考)

予算としては

一人 12,000 円/年 × 6 人 (目安の人数) × 3 学年 = 216,000 円

学友会が 1 年間で扱う金銭量は 300 万円/年ですので、そこまで圧迫する数字ではありません。

③団体に「1,2年生との接点づくり」に協力してもらう

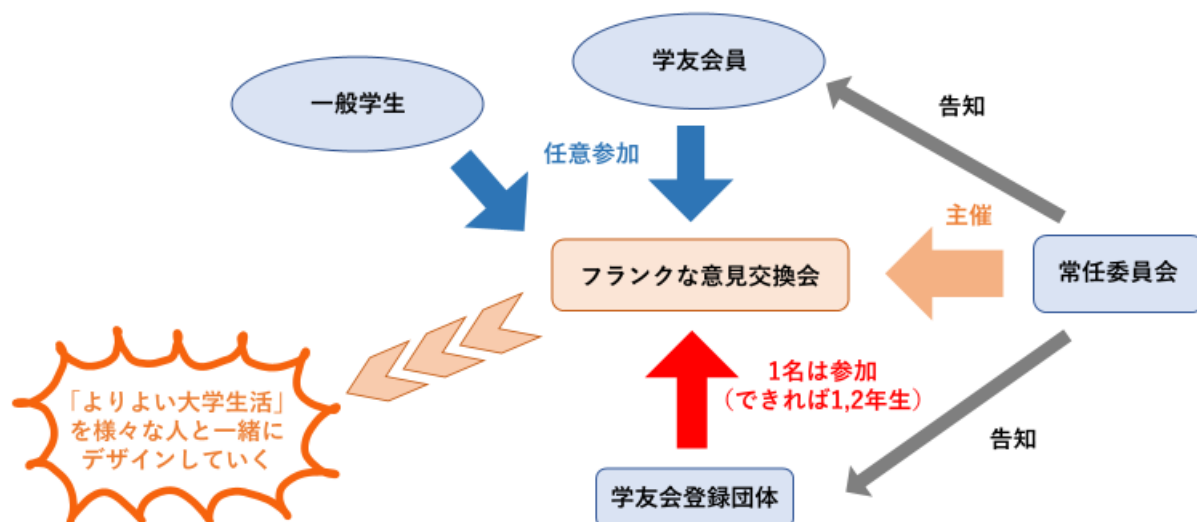
最初に少し脱線しますが、常任委員会では来年度以降、毎年夏休みの期間に「学友会員とフランクな意見交換を通して『よりよい大学生活のために、常任委員がやるべき取り組み』を共にデザインする」ような意見交換の機会を設けようと考えております。

(提案理由)

- ・本改革案策定にあたって実施した、団体とのフランクな意見交換を通して「常任委員内部で抱え込まずに、学友会員と共により良い活動をデザインしていく」ことの重要性に気付けたことが要因の一つ。
- ・現状は「何をやっているかよく分からないけど、お金を集めている団体」というイメージの人が多く、意見交換を通じて常任委員の活動や、働いている人の様子などを感じ取ってもらい、常任委員会のことを知ってもらえるのではという期待もある。

そして、人手が足りていないとき（目安として、その年の1年生が6人以下の時）のみ意見交換会の後に勧誘目的の説明を行おうと考えております。（人手が足りていない事、業務内容、掛け持ちや勉強との両立の不安解消などを説明。）

団体のみなさんに協力していただくこととして、各団体から1名ずつ（原則として1,2年生を）この意見交換会に出席していただくことを考えております。（サークルポイント付与の対称）



※常任委員が人手不足の時、意見交換会の後に勧誘目的の説明会を実施

(3)導入スケジュール

改革案導入のスケジュールは以下のようなことを考えております。

2021年	6月	学生大会にて本改革案を採決
2022年	2月	第二回新歓会議にて、方針①の同意を得る
	4月	方針①導入
	6月	方針②導入
	8月	方針③導入

(4)注意事項

本改革案は「団体から強制的に人員を出してもらうもの」**ではありません。**
意見交換開催前に発表した最初の案では「団体から強制的に人員を出してもらうもの」でしたが、現在の案は「強制的に意見交換会に出席していただくもの」ではあるものの、入るかどうかは本人の自由意思によるものとなります。